

巻頭言

中村 宏

東京大学情報基盤センター長

平成 26 年 4 月より東京大学情報基盤センター長に就任しました中村宏です。私は、情報理工学系研究科システム情報学専攻（工学部計数工学科）に所属しており、コンピュータシステムの高品質化、特に高性能化と低消費電力化を主な研究分野としています。

私にとってのスーパーコンピュータとの「出会い」は、1996 年に筑波大学計算物理学研究センター（現在の同大学計算科学研究センター）で稼働を開始した CP-PACS に遡ります。当時私は筑波大学に在職し CP-PACS の開発に携わっており、計算機工学者（設計する側）と計算物理学者（利用する側）が、納得いくまで議論し力を結集して開発したこの計算機は、幸い TOP500 で一位となることができました。その成功は、この計算機開発に携わった、私を含む多くの研究者・技術者を大きく育てた、と考えています。

当センターの重要な役割は、最先端の情報基盤を実現し皆さんに共同利用・共同研究の形で提供を行い、その過程で新たな技術・知見を生み出し、将来の情報基盤実現へ資することです。昨年度、筑波大学計算科学研究センターと連携し、最先端の計算科学を推進し我が国の学術及び科学技術の振興に寄与することを目的とした 30PFLOPS 級次期スーパーコンピュータシステムを共同で設計・運用する組織「最先端共同 HPC 基盤施設」を設置し活動を開始しました。私の中でつながっていた 2 つのセンターが組織として連携することになったことにも感慨が深いのですが、当センターのスーパーコンピューティングの活動を通して、自分がそうであったように研究者・技術者を育て、そして将来のスーパーコンピューティング技術を創造する、との使命を与えられたという思いを強くしています。

その使命を果たすべく、当センターの活動を積極的に推進していく所存です。今後とも皆様方のご支援を賜りますようお願いいたします。